

令和7年度版



養父市イメージキャラクター  
やっぷー

# 養父市 新規就農ガイドブック



農業を志す  
あなたの本気を  
応援します



養父市産業環境部農林振興課



# 養父市はこんなまち



養父市は、兵庫県北部に位置し、市の東部を一級河川・円山川が流れ、西部には鳥取県との境に兵庫県下最高峰の氷ノ山(標高1,510m)がそびえる雄大な自然に恵まれたまちです。

一年を通じ寒暖差が大きく冬に雪の多い日本海側気候の養父市は、ハチ高原をはじめ4つのスキー場を有しており、冬のウインタースポーツ、夏のキャンプ・登山、秋の紅葉の中のハイキングなど様々な顔を持った美しい四季を感じることができる地域です。



氷ノ山を望む別宮の棚田

養父市では、稲作を主体として野菜、畜産、花き、果樹などを取り入れた複合的な農業が展開されています。近年は、特産品のブランド化や、有機栽培など農畜産物の高付加価値の取組も積極的に行われています。

交通面では、京都と山陰地方を結ぶ国道9号、姫路方面と山陰方面を結ぶ国道312号が通っており、広域的なネットワークを形成しています。また、北近畿豊岡自動車道が延伸され、市内には八鹿氷ノ山IC、養父ICが整備され阪神間とより近くなりました。

## ●目次

1 農業を職業として選択する前に .....	2
2 新規就農プロセス .....	3
3 養父市で就農した先輩農業者 .....	4~6
4 就農支援制度 .....	7~8
5 子育て支援制度 .....	9
6 移住支援制度 .....	10





# 農業を職業として選択する前に…



## 5つのチェック



Check!

1

### 農業を始めようと思ったきっかけは？

「無農薬の野菜が食べたい」、「会社勤めより楽そう」、「田舎暮らしをしたい」といった憧れで農業を選んでいませんか。単なる思い付きであればもう一度考えてみてください。

農業は自然相手の仕事になりますので、自然災害や農作物価格の上昇下落など思いがけない事態が発生します。一人の経営者として会社を営営することと変わりません。

Check!

2

### 家族の理解を得ましょう。

農業を職業にするということは、家族のライフスタイルを大きく変えることとなります。都会と違う面が多いですが、そのような条件について家族の理解と協力を得る必要があります。

農業経営は家族で行うのか一人で営農をするのか、生活用品はどこで購入できるのか、子どもの通う学校までの距離など住む地域への綿密なサーチが必要です。家族の理解を得ることが新規就農への第一歩です。営農をしたいと思う地域へ家族と一緒に見学に行きましょう。

Check!

3

### 新規就農するために準備はとても重要です。

農業経営を行うには専門的な技術や、経営管理能力を身に付け営農計画の下で農業を行うことが必要です。経営の軸となる農作物については、種まきから収穫まで1サイクル以上の栽培を経験してから営農計画を立てていくことが必要になります。

また、新規就農者が就農に際し苦労した点として、資金の確保や営農技術の習得、農地の確保等があげられていますので、一度農林振興課へご相談ください。

※新規就農者が就農1年目に要した費用状況は、平均で755万円(機械・施設等561万円、種苗、肥料・燃料194万円)とされています。

\*令和3年度「新規就農者の就農実態に関する調査結果」  
全国農業会議所調べ

Check!

4

### 農村社会で近所付き合いは大切です。

農村社会では、地域の様々な行事や共同作業に積極的に参加し、地域に溶け込むことが重要です。

地域の一員として密接な近所付き合いが必要になりますので、慣れない地域の習慣に戸惑いを感じるかもしれませんが、営農に係る共同作業や地域行事に積極的に参加協力することで人脈を築くことができ、様々な地域の情報を得ることも可能になります。

Check!

5

### 農業は会社のような定期収入がありません。軌道に乗るまで時間がかかります。

全国新規就農相談センター実施のアンケートでは、新規就農者の約60%が「前年の農業所得は100万円未満」と回答しており、生産、販売する作物によって変わりますが安定した収入を得るには長い時間がかかります。長期間軌道に乗らなくても取り組み続けるという根気、農業経営に対する分析や研究を行う熱意が必要になります。

# 新規就農へのプロセスを考えよう



## 〈養父市の代表的な作物の経営指標〉

○朝来市農業改良普及センター試算

(10aあたり)

作物	ピーマン(露地)	ホウレンソウ(雨よけ有機)	ダイコン(高原露地)	水稲
収量(kg)	7,200	650	5,000	450
単価(円)	320	917	110	266
売上	2,304,000	596,050	550,000	119,700
経費	1,500,000	295,782	350,000	91,312
所得	804,000	300,268	200,000	28,388
労働時間(時間)	604	89	110	22

※上記のデータは、兵庫県北部のモデル的な農業経営実態を調査し、取りまとめたものであり、新規就農当初の農業所得は、上記の3~5割減になることも想定しご参照ください。



新しいアイデアを次々カタチにしたい！一緒にやりませんか？



養父市で就農している先輩農家に聞く！ 教えて！先輩①



# 積極的に機械化・省力化を推進 農業の可能性を日々広げていく

養父市大屋町おおや高原 豊嶋良和さん

自分で作物を作り出す喜び「農業っていい仕事だなあ」と感謝。

メイン品目 ほうれん草・ミニトマト  
有機JAS取得 菊菜・小松菜・水菜  
空芯菜・小かぶ



○我が家の野菜のおすめメニュー  
雪見鍋。肉とほうれん草を鍋仕立てにして、すりおろした小かぶを入れて完成。シンプルだけど旨い。



愛犬のゆきのちゃん人懐っこく好奇心いっぱい



「子どもを田舎で、自然の中でのびのびと育てたかったんですよ」それが豊嶋さんの養父市への移住の一番の理由でした。

今や子どもさんたちは近所の方を見かけると、「〇〇さんや！」と大喜びで走って行って挨拶したり、自分たちの近況報告をしたりしているそうです。ご年配の方のおしゃべりの輪にも加わって、とても楽しそう。

「うちの子らは地域の方みんなに可愛がってもらっているの、人に対する安心感、信頼感が半端ないんです。親としてとてもうれしく思っています」

豊嶋さんは養父市の隣町で生まれ、高校卒業まで但馬で育ちました。大学卒業後、鳥取県や大阪府などで会社員として十数年を過ごしたのち、あちこちの市町村へ農業の勉強に行き、就農するための準備を始めました。

最終的に養父市に決めたのは、「いくつかの自治体にお世話になったけれど、養父市の方には本当に親身にな

ってもらったから」だといいます。

現在利用している農地や農業用機械は、高齢のため農業を引退された地元の農家の方から譲り受けたものだそうです。「これから農家をやっていくのに必要だけ高価で購入をためらっていた農機などを譲っていただいて、とてもありがたかったです。これまでお世話になった方々や地元である大屋地域のためにも、頑張って農業で出来ることを大きくしていきたいんですよ！」と意気込みます。

○農業のこだわり

豊嶋さんはおいしく安全な農作物を作り届けるために、機械化の良さも実感しています。

「収穫した後出来るだけ早く出荷すれば、消費者の方に新鮮なまま届けられるでしょ。それがおいしさにつながると考えて、選別機を導入したんです。作業が早くできるようになり、楽になりました」

年間スケジュール	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
大型ビニールハウス	雪のため作業お休み	次シーズンに向けて計画・管理作業など										
			ビニール貼り	種まき	収穫始まる・出荷	苗作り	種え付け					種まき(最終)
												ほうれん草・水菜など各種野菜



◀マシン導入

(左)「組み合わせはかり」。各はかりに野菜の束をセットし、必要な規格の数値を入力すれば、自動的に希望の重さの束が組み合わされる。(右)できた束をこちらの機械へ入れると、袋詰めが完成。



私は農場を経営しているので、仕事は主に管理・運営業務です。何でも自分で決めて、自分の責任で行動できるのが醍醐味です。失敗もありますが、毎日の試行錯誤の中で少しずつ自信もついてきました。

最初は有機農業も知らず、研修では作業や技術の他、様々なことを一から教えてもらいました。種まきして農作物が育つのが見ると「よく育ったな！」と嬉しく、やる気が湧きます。

野菜をもっていくととても喜んでくれます。普通の仕事では味わえない、大きな嬉しさがありますね。冬は大好きなお酒を楽しみながら「次は何をしよう」と計画するわくわくした時間を過ごしています。



仲間が増えるの、大歓迎！ぜひ養父市で就農してください！



養父市で就農している先輩農家に聞く！ 教えて！先輩③



# 有機の里特区の看板が決め手「ここしかないやん!!」と即決

養父市大屋町蔵垣 田村和樹さん・麻里奈さんご夫妻

お客様の「おいしい野菜やなあ」の声を励みに。

メイン品目 ピーマン・なす  
有機JAS取得 ズッキーニ・水菜

サブ品目 万願寺唐辛子・バジル  
しょうがなど



○我が家の野菜のおすすめメニュー  
ピーマンの肉詰めが子どもたちの大好物。赤ピーマンは甘くてみずみずしいので、サラダにしても。



田村さん夫妻は、ふたりとも独身の頃からいずれは有機農業をやりたいな、とっていたそうです。兵庫県で就農することは決めていましたが、初めのうち候補地は丹波篠山・三田市などで、養父市は選択外でした。移り住むにあたっては土地の人になじめるか、また有機農業に理解がある土地かなどを考えていたといいます。

ある日、候補地巡りのため但馬へドライブ。近くまで来たので、たまたま田村さんの祖父母が住んでおられた大屋町蔵垣の家に寄ってみることにしました。道の角を曲がろうとして、ふとある看板が目にとまり、それがおやお有機の里特区の看板でした。

「看板を見た瞬間、求めていた場所はここだ!とふたりで大盛り上がりしてしまいました」と笑う田村さん夫妻。さらに加西市で受けた農業研修の際、大屋町の有機農業の学校の先生に教わっていたご縁もあり、養父市で就農することに決めました。

## ○農業のこだわり

アレルギーなどがある敏感な人や赤ちゃんでも食べられる品質の良い野菜作りをしたい。その思いから、安全性を追求するため、肥料は原料から厳しくチェックしています。自分たちで納得できる、出所のわかっている肥料を使い、時には自ら植物由来の肥料を作ることもあります。いずれの場合も植物の持つ自然の力を引き出すため、余分な肥料は与えません。

持続可能な農業を念頭に、無理なくできる範囲で、出来るだけ環境に負荷の少ない農作物の作り方を研究中の田村さん夫妻のもとには、野菜を購入したお客様からお礼の手紙が届き、感激することもしばしば。

『田村さんの野菜は、私も食べることが出来ました』『応援しています』等のメッセージを頂き、生産者として、最高にうれしいです！

年間スケジュール	栽培1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハウス	水菜	種まき	苗作り	植え付け	ズッキーニ	バジル	きゅうり	ズッキーニ	なす	ピーマン・万願寺唐辛子	収穫	作業お休み
露地	種まき	土準備	苗作り	植え付け								

夏の日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
★起床	★収穫・袋詰め作業	★朝ごはん	★子どもたちが登校	★水やり・管理作業	★出荷作業	★お昼ごはん	★近所の牛しごこのお手伝い	★お休み	★お風呂	★その他	★管理業務研修等	★車検	★お風呂	★お風呂	★子どもたちが就寝	★白時間	★事務経理	★伝票売上の管理等	★就寝

お昼まで一人で車のスピードで出荷作業をやります!

夫のみ。[但馬牛でとてもかわいい!]

2人で役割分担しながら農作業と家仕事をします

出荷量が多い時はここでも袋詰めします



はじめは販路を作るのが大変でしたが、しっかりとした品質の苗や野菜を作ることで大手機関やスーパーなどが取引先に。収入も安定しました。

栽培方法の研究、販路作り、肥料作りなどやることはたくさんあります。大変ですが、一つ一つ自分たちの力で作っていくので楽しく、やりがいのある充実した毎日です。

自分たちでやる手作り型農業と規模の大きいがっつり型農業。私たちは前者を選びましたが、それぞれにいいところがあるので、自分に合いそうなものを選択すると思います。



知って  
得する

# 就農支援制度



## 農業インターンシップ研修

農業という職業が自分に合っているか、農業に適性があるかなどを体験を通じて確認する研修です。

〈対象者〉

兵庫県内での就農を希望している新規就農希望者で、農業体験指導を希望する者。

〈体験期間〉

短期：1日～7日

中期：最長30日以内（1か月～6か月）

※連続でなくて構いません。土・日も受け入れ可能

※就農を希望する地域で、優れた経営を行っている農業者のもとで農作業や地域の環境を肌で感じることができる制度。

**お問合せ**

ひょうご就農支援センターまたは朝来農業改良普及センターへお問合せください。

**(公社) ひょうご農林機構 ひょうご就農支援センター**  
ホームページ：<http://hyogo-shunou.jp> TEL：078-391-1222

**朝来農業改良普及センター**  
TEL.079-672-6890 E-mail：[asagonk@pref.hyogo.lg.jp](mailto:asagonk@pref.hyogo.lg.jp)

## 養父市新規就農希望者研修支援制度

養父市で新たに就農を希望する就農希望者が、市内で営農する熟練の農業者である親方の下で学ぶ制度です。栽培方法や農業経営など親方農家から直接指導を受け、実践的な技術を学び独立営農を目指します。

農業研修を行う者に対し、年間150万円を最長2年間支援。

**以下の要件を全て満たす方**

(1) 営農開始予定時(研修終了時)の年齢が50歳未満の就農希望者。

(2) 研修終了後、養父市内で営農することができる就農希望者。

※資金交付にはこのほかにも要件があります。詳しくはお尋ねください。

**お問合せ**

**養父市役所 産業環境部 農林振興課**  
TEL.079-664-0284 E-mail：[nousei@city.yabu.lg.jp](mailto:nousei@city.yabu.lg.jp)



知って  
得する

# 就農支援制度



## 新規就農者育成総合対策



### (1) 経営開始資金(資金面の支援)

新たに経営を開始する方に対して資金を助成します。

#### 対象者: 次のいずれにも該当する方

- ① 独立・自営就農時の年齢が49歳以下の新規就農者で、次代を担う農業者となることについて強い意欲を有している方
- ② 養父市から新たに「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者※1の方。  
支援額…12.5万円/月(年間150万円)  
最長3年間

### (2) 経営発展支援事業(経営発展の支援)

就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援します。

#### 対象者: 次のいずれにも該当する方

- ① 独立・自営就農時の年齢が49歳以下の新規就農者の方。
- ② 養父市から新たに「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者※1の方。  
補助率…補助対象経費の3/4  
支援額…補助対象事業費 上限1,000万円  
「経営開始資金」の交付対象者は、補助対象事業費上限500万円

※1 新たに農業を始める方が作成する「青年等就農計画」を養父市が認定し、認定を受けた方が、将来において安定的な農業経営の担い手として発展していくよう支援する制度。

お問合せ

養父市役所 産業環境部 農林振興課

TEL.079-664-0284 E-mail : nousei@city.yabu.lg.jp





# 養父市の子育てサポート



妊娠・出産期

**補助あり**

## ◎特定不妊治療における治療費及び通院交通費助成

特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けられた夫婦に対し、治療費を助成します。通院交通費は要件に応じて、公共交通機関の利用料金または自家用車交通費の相当額を距離に応じて算定し一部を助成します。その他、不育症、一般不妊治療についても治療費を助成します。

乳幼児期

**0円無料**

## ◎1か月児等健康診査費・新生児聴力検査費助成事業

生後2週間、1か月児健診にかかる費用を全額助成、聴こえに問題がある赤ちゃんを早期に発見し適切な支援を行うため、新生児聴力検査に要した費用を全額助成します。



**0円無料**



**0円無料**

## ◎認定こども園・保育所の保育料無償化

認定こども園・保育所を対象に、**保育料と副食費を無料**にします。

## ◎乳幼児等医療費助成事業 ◎こども医療費助成事業

0歳から高校3年生までのお子さんが市内在住の場合、健康保険適用分の医療費を全額助成します。

小学校・中学校・高等学校校期

**軽減**

## ◎給食費負担軽減事業

市内の小中学校及び義務教育学校に通学するお子さんの給食費の補助をします。

第1子は 月額3,000円  
第2子以降は 月額2,100円



**補助あり**

## ◎遠距離通学 児童・生徒通学費補助事業

市立小学校、中学校及び義務教育学校に遠距離通学する児童・生徒の保護者に対してバス代・自転車通学費などを補助します。

**補助あり**

## ◎高校生通学費補助金交付事業

市に居住し高等学校に電車及びバス通学する生徒の保護者に対し定期乗車券購入費用の一部を補助します。

大学期

**年間60万円貸与あり**

## ◎若者未来応援奨学金事業

就学意欲のある若者の未来を支援するため、大学等に進学する若者に対し、1ヵ月当たり5万円の奨学金を貸与。貸与期間終了後に養父市に定住した場合、条件を満たせば奨学金の返済を猶予・免除します。要件あり。





あなたの  
移住・定住を  
応援！

# やぶ暮らし住宅支援制度



## 養父市の住まいのサポート

**奨励金**  
あり



### やぶ暮らし住宅支援制度

養父市に定住するため、専用住宅を新築、購入、又は増改築、若しくは市内の賃貸住宅等を契約し、入居した方や、U・Iターンで養父市に転入された方に対し奨励金を交付します。\*年齢等要件あり。

最大  
**30**  
万円



### 空き家購入奨励金

空き家を購入した際、条件を満たした空き家に対し空き家購入奨励金を交付します。\*年齢等要件あり。

最大  
**40**  
万円



### 新築奨励金

延床面積が75㎡以上の専用住宅を新築した場合、新築奨励金を交付します。\*年齢等要件あり。

月額  
**2**万円  
(最長12か月)



### 民間賃貸住宅入居奨励金

賃借料の月額が4万円以上の民間賃貸住宅に入居した場合、民間賃貸住宅入居奨励金を交付します。\*年齢等要件等あり。

最大  
**25**  
万円



### 増改築奨励金

延床面積が75㎡以上で50万円以上の費用を要して専用住宅もしくは賃貸住宅等を増改築した場合、増改築奨励金を交付します。\*年齢等要件あり。

**奨励金**  
あり



### U・Iターン者奨励金

U・Iターン者等が定住のため本市に居住した場合、U・Iターン者奨励金を交付します。\*年齢等要件あり。



### 養父市空き家バンク

市内の空き家を利用(賃貸または購入)したい方に対し、空き家バンクに登録された物件の情報提供を行います。

# Access



兵庫県  
養父市



大阪から約2時間  
神戸から約1時間40分

○大阪・神戸(中国自動車道)→吉川JCT  
→(舞鶴自動車道)→春日IC→(北近畿豊岡自動車道)→養父IC又は八鹿氷ノ山IC  
○大阪・神戸(中国自動車道)→福崎IC  
→(播但自動車道)

京都から約2時間30分

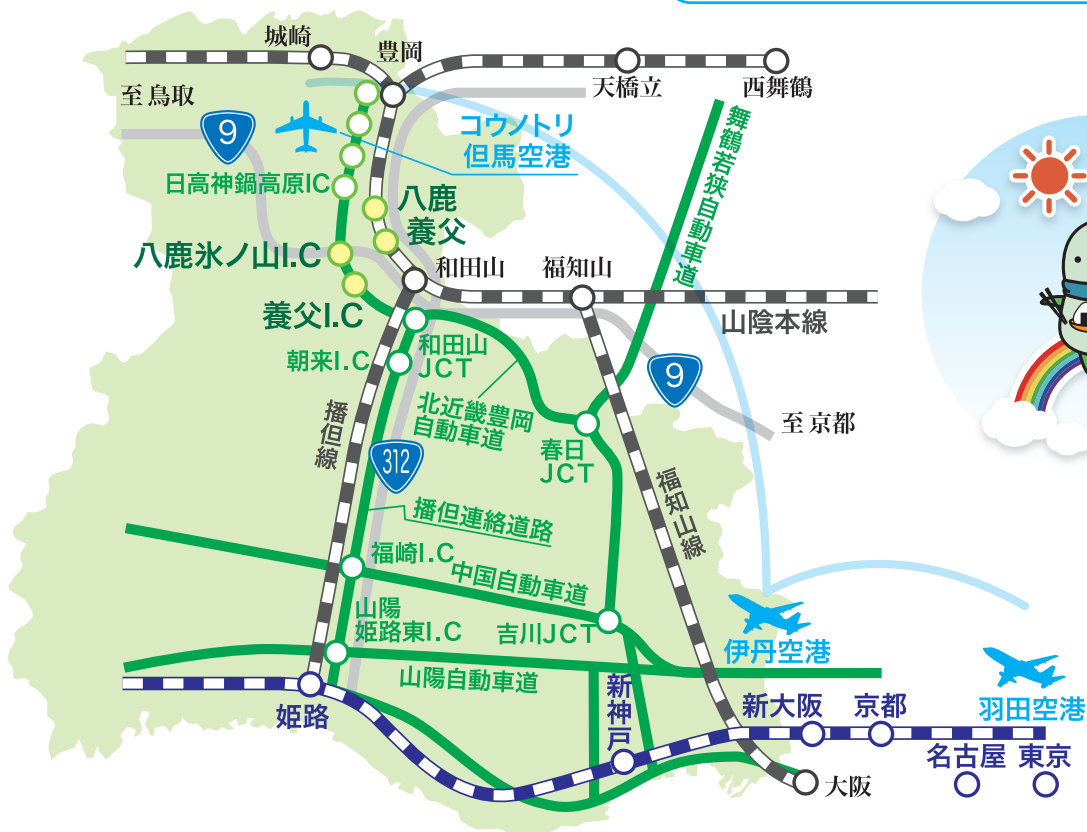
○京都→国道9号線→(京都縦貫自動車道)  
→国道9号線



JR(特急)で…  
大阪・神戸・京都から 約2時間10分  
JR(新幹線+特急)で…  
東京から 約5時間



飛行機で(羽田→伊丹→但馬)…  
東京から 約2時間15分  
大阪から 35分



養父市役所 産業環境部 農林振興課

〒667-0198 兵庫県養父市広谷250-1  
TEL.079-664-0284 FAX.079-664-2528  
<https://www.city.yabu.hyogo.jp>  
E-mail : nousei@city.yabu.lg.jp

養父市

GO